

1. 概況

全体の景況感(全29店舗)

	好転	不変	悪化
前月と比較して	0	23	6
今後3か月程度の見通し	0	20	9

【漁業】

銚子港の総水揚げ数量は10,682トン、前年同月比+2,491トンとなった。総水揚げ金額は1,877百万円で、前年同月比+258百万円となった。なお、前月比については、サンマ・アジの水揚げは増加したが、イワシ・マグロ類の水揚げ減少により、総水揚げ数量で15トン、総水揚げ金額は187百万円と数量・金額ともにやや減少した。

【農業】

銚子地区のトマトは日量3,000ケース出荷されており、1箱(4kg)1,500円前後の価格相場にて取引されている。また、キャベツ・ダイコンについては、10月の出荷に向けて順調に生育中であるが、台風等の悪天候の被害により再び作付けから行わなければならない地域もあり、収穫の遅れによる影響が懸念される。

【商業】

銚子地区の各商店街においては、連休とお彼岸の帰省による観光客を含めた来街者の増加が見込まれる事から、お土産等の売上増加に期待していたが、売上の増加には繋がらず、前年同月対比売上高の減少が続いている。また、各地域の商店街においても、物価上昇に対する不安感から個人消費は落ち込んでおり、売上高の減少と収益性の低下が顕在化している。

【建設業】

平成20年8月の公共機関からの受注工事(1件500万円以上の工事)は、千葉県29,170百万円(前年同月比+55.5%)、茨城県14,138百万円(前年同月比+11.7%)となり、千葉県・茨城県ともに前年同月対比にて増加した。また、8月の住宅着工戸数は、前年同月比にて千葉県は180.7%(+2,557戸)と大幅に増加しており、茨城県も142.0%(+682戸)の増加となった。前月(7月)対比については、千葉県・茨城県ともに減少している。

【観光業】

各地域ともに、ガソリン価格高騰の影響によりマイカー利用の個人観光客は減少しており、ホテル・旅館を始めとした宿泊施設や各種観光施設の売上高減少の大きな要因となっている。夷隅地区では「大原はだか祭り」「大多喜お城祭り」が開催された。

<業種別天気図>

全 体	漁 業	水産加工業	農 業	商 業
建 設 業	観 光 業	不 動 産 業	養 豚 業	自 動 車

(前月と比較した当月の各業種の景況感を天気図で表示してみました。)



2. 主要業種別動向

漁業・水産加工業

銚子港の総水揚数量は10,682トン、前年同月比+2,491トンとなった。総水揚金額は1,877百万円で、前年同月比+258百万円となった。なお、前月比については、サンマ・アジの水揚は増加したが、イワシ・マグロ類の水揚減少により、総水揚数量で15トン、総水揚金額は187百万円と数量・金額ともにやや減少した。

波崎港に所属の漁船は、サバを中心に八戸沖で操業しており、水揚についても八戸港で行っている。海外輸出用の需要もあり魚価は高値で安定している。

勝浦港の総水揚数量は209トンで、前年同月比+115トンとなった。総水揚金額は121百万円で前年同月比+13百万円となった。また、前月比では、カツオの水揚が数量で593トン、金額は244百万円と大幅に減少した事を要因として、総水揚数量で674トン、総水揚金額は266百万円の減少となった。

大原港のイセエビ漁は、昨年と比較して水揚量は好調であるが、価格相場はキロ@2,500円~3,000円程度となっており、例年と比較して安値で取引されている。なお、前月と比較しても価格相場はキロ@1,500円~2,000円程度下落している。

水産加工業については、ノルウエーサバ(400g~600gサイズ)がキロ単価で80円~100円程度の値上りが予想されており、国内サバについても高値が見込まれている。しかし、原魚仕入価格の上昇分を販売価格へ転嫁することは困難な状況である。

各漁港の漁業者・水産加工業者ともに、燃料費高騰の影響による収益の圧迫が見られる。

銚子魚市場水揚高

銚子市漁業協同組合調べ

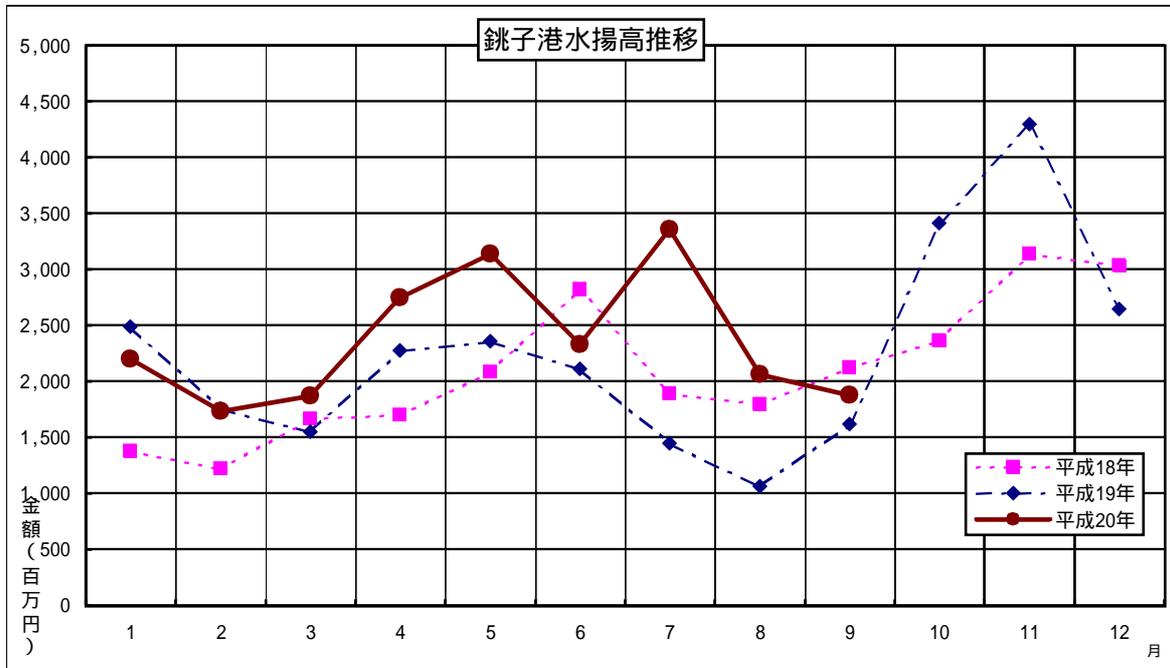
種類	数量(トン)			金額(千円)		
	H20年9月	H19年9月	前年同月比	H20年9月	H19年9月	前年同月比
鰯	281	283	2	44,318	36,055	8,263
鯖	4,005	3,070	935	500,454	326,298	174,156
鰹	1,058	936	122	119,550	153,252	33,702
鰹・鮪	354	455	101	459,980	540,287	80,307
(内鰹一本釣)	0	0	0	0	0	0
秋刀魚	4,540	3,042	1,498	462,176	301,095	161,081
底曳	270	267	3	82,751	92,810	10,059
その他	174	138	36	207,855	168,645	39,210
合計	10,682	8,191	2,491	1,877,084	1,618,442	258,642

前月比	数量	99.86%
	金額	90.92%
前年同月比	数量	130.41%
	金額	115.98%

水揚日数



	H20年9月	H20年8月	H19年9月
鰯	6日	14日	1日
鯖	15日	14日	9日
鰹	10日	4日	11日
鰹・鮪	22日	22日	21日
(内鰹一本釣)	0日	1日	0日
秋刀魚	15日	5日	14日
底曳	19日	0日	20日
その他	24日	23日	22日



農 業

銚子地区のトマトは日量3,000ケース出荷されており、1箱(4kg)1,500円前後の価格相場にて取引されている。また、キャベツ・ダイコンについては、10月の出荷に向けて順調に生育中であるが、台風等の悪天候の被害により苗が雨に流されたり、長雨の影響により生育不良が発生した為に、再び作付けから行わなければならない地域もあり、収穫の遅れが懸念される。

波崎地区のピーマンは8月の猛暑の影響により生育が悪かった事から、出荷量は前年同月と比較して減少している。また、1袋あたりの価格相場については上旬・中旬・下旬ともに40円程度と、前年同月と比較して5割程度の安値となっており、前月と比較しても2割～5割程度値を下げた。

海上地区のマッシュルームは、1パック(100g)100円前後と例年と同水準の価格で取引されており、価格相場は安定している。

稲作については、匝瑳地区や山武地区を始め多くの地区において豊作となっており、価格相場も高値となった。しかし、肥料代等の諸経費も例年と比較して上昇しており、収益面の増加についてはあまり期待できない状況である。

飯岡地区では、春菊とパセリの収穫が開始されたが、出荷量は少なく価格相場も春菊が1箱(3kg)2,500円以上、パセリが1箱(5kg)5,000円以上と高値で取引されている。

商 業

銚子地区の各商店街においては、連休とお彼岸の帰省による観光客を含めた来街者の増加が見込まれる事から、お土産品等の売上増加に期待していたが、売上の増加には繋がらず、前年同月対比売上高の減少が続いている。

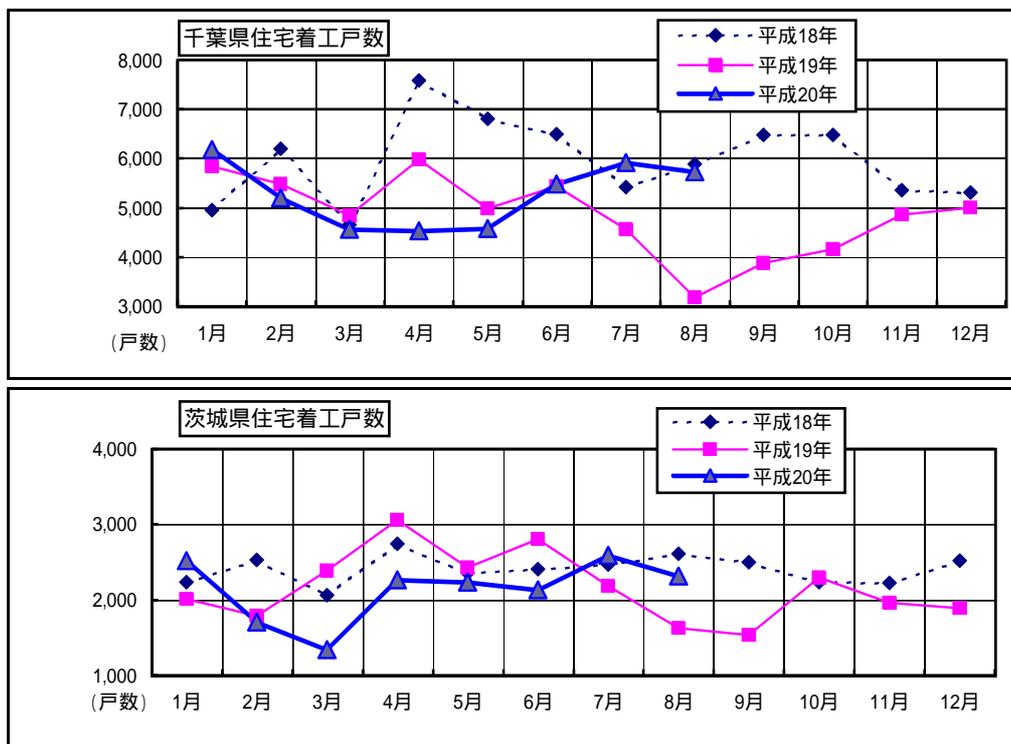
なお、同地区において平成17年11月に閉店した商業施設の再開発による開店が、平成21年春以降となった事から、早期の開店を期待していた周辺の商店主や近隣住民は、非常に落胆している。また、再三の開店延期に対して再開発への不安感も生まれ始めている。(当初平成20年6月～8月の開店予定を同年11月14日に延期したが、同年9月5日に平成21年春以降の開店を目指し計画を見直すことを正式に発表した。)

他の各地域の商店街においても、原材料価格高騰を要因とした仕入価格の上昇による収益性の低下が顕在化しており、併せて物価上昇に対しての不安感から、消費者の購買意欲は低下しているため売上高も減少している。

建設業

千葉県・茨城県の住宅着工戸数は以下のとおり。

	前月戸数	前々月戸数	増減
千葉県	5,725	5,915	-190
茨城県	2,307	2,585	-278



平成20年8月の公共機関からの受注工事(1件500万円以上の工事)は、千葉県29,170百万円(前年同月比+55.5%、+10,413百万円)、茨城県14,138百万円(前年同月比+11.7%、+1,477百万円)となり、千葉県・茨城県ともに前年同月対比にて増加した。また、前月(7月)と対比しても千葉県で1,586百万円、茨城県は1,017百万円の増加と両県ともに4ヶ月連続で前月対比の増加となった。

8月の住宅着工戸数は、前年同月比にて千葉県は180.7%(+2,557戸)と大幅に増加しており、茨城県についても142.0%(+682戸)と、千葉県・茨城県ともに前月に引続き前年同月を上回った。なお、前月(7月)対比については、千葉県は96.7%(-190戸)とやや減少しており、茨城県においても89.2%(-278戸)と、両県ともに減少した。

原油価格高騰を要因とした、建築資材値上りや諸経費増加の影響による業況の悪化と収益の圧迫が顕在化しているが、公共工事・住宅建築ともに前年同月対比にて増加している事から、業況の好転に期待している。

国土交通省統計情報より

観光業

各地域ともに、秋の観光シーズンを迎え観光客の増加に期待していたが、ガソリン価格高騰の影響によりマイカー利用の個人観光客は減少しており、ホテル・旅館を始めとした宿泊施設や各種観光施設の売上高減少の大きな要因となっている。

銚子地区では多くの観光客が訪れているが、日帰りの廉価なツアー客が大半である為、個人単価は低くおみやげ物等の購入は必要最低限に抑えている様に見える。

夷隅地区では、全国的にも有名な「大原はだか祭り」が9月23日・24日に、「大多喜お城祭り」が9月26日・27日に開催された。

情報アドバイス
銚子商工会議所

不動産業

佐倉地区では、事業用不動産（駐車場用地や倉庫等）の販売が増加しており、物件の問い合わせも多くある。購入希望者の多くは東京都内の事業者であり、都内の地価高騰が増加要因の一つと考えられる。今後も東京都内と成田空港の間にあり道路網の整備された地域については需要の増加が十分に見込まれる。

養豚業・畜産業

平成20年9月の東京市場での豚枝肉と鶏卵の卸売価格相場は、豚枝肉卸売価格が平均517円/kgで、前月比 51円/kgとなった。また、前年同月比についても 8円/kgと、前月比、前年同月比ともに値を下げた。鶏卵（Mサイズ）の卸売価格は平均216円/kgで、前月比+20円/kgとなった。また、前年同月比についても+50円/kgと高値相場となった。畜産業は、配合飼料価格と各種材料費の値上りの影響が続いている。

自動車ディラ

9月の千葉県新車登録台数は14,824台で、前年同月比6.35%の減少となった。これにより1月～9月の累計新車登録台数は、124,970台と前年同期比にて0.52%減少した。

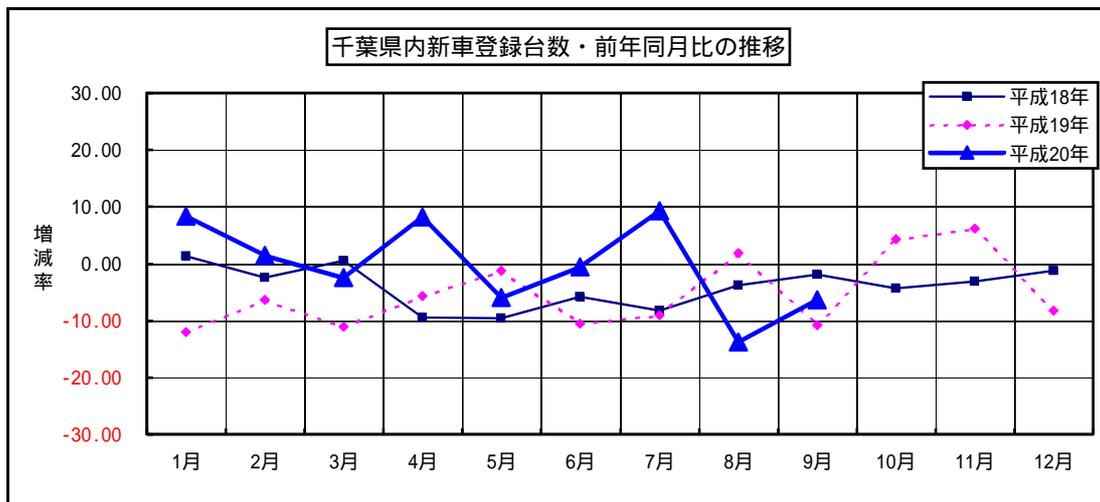
車種市場別の販売状況については、乗用車市場の車型別で2BOX・純輸入乗用車は増加したが、3BOX・ステーションワゴン・RV車の減少により、乗用車市場全体では前年同月比5.79%の減少となった。また、貨物車市場は前年同月比9.33%減少となり、平成19年6月から連続で前年同月実績を下回っている。

メーカー別の登録台数では、ホンダ・富士重工・三菱ふそうが前年同月台数を上回った。なお、メーカー別の占拠率は、トヨタが43.5%となり、次いでホンダが16.2%、日産が16.1%の占拠率となった。

千葉県内新車登録台数状況（軽自動車を除く）

		当月	前月	前月比	前年同月	前年比
乗用	普通	5,769	3,480	165.78%	6,520	88.48%
	小型	6,930	4,769	145.31%	6,959	99.58%
	小計	12,699	8,249	153.95%	13,479	94.21%
貨物	普通	693	409	169.44%	863	80.30%
	小型	1,046	728	143.68%	1,055	99.15%
	小計	1,739	1,137	152.95%	1,918	90.67%
特殊等	特殊	290	267	108.61%	370	78.38%
	バス	96	71	135.21%	62	154.84%
	小計	386	338	114.20%	432	89.35%
総合計		14,824	9,724	152.45%	15,829	93.65%

社)日本自動車販売協会連合会 千葉県支部調べ



情報アドバイス
千葉トヨタ自動車(株)

3. その他の動向

求人

有効求人倍率

(単位：倍、増減はポイント)

	前月	前々月	増減	前年同月	増減
銚子公共職業安定所管内	0.87	0.84	0.03	1.03	0.16
茂原公共職業安定所管内	0.61	0.71	0.10	0.80	0.19
いすみ公共職業安定所管内	0.99	0.94	0.05	1.03	0.04
成田公共職業安定所管内	0.91	0.95	0.04	1.14	0.23
佐原公共職業安定所管内	1.06	1.12	0.06	1.32	0.26
千葉県	0.80	0.83	0.03	0.98	0.18
常陸鹿嶋公共職業安定所管内	0.85	0.83	0.02	0.76	0.09
茨城県	0.89	0.91	0.02	0.99	0.10

有効求人倍率 = 有効求人数 ÷ 有効求職者数

ハローワーク銚子/茂原/いすみ/成田/佐原/常陸鹿嶋調べ

電力

電力使用量

(単位：千kwh)

	前月	前年同月	増減
東京電力銚子営業所管内総電力使用量	150,415	145,248	5,167
〃 (うち 動力使用量)	109,830	104,793	5,037

東京電力(株)成田支社調べ

倒産

平成20年9月における負債総額1,000万円以上の千葉県内企業倒産件数は30件で、前月比にて5件減少したが、前年同月比では14件の増加となり4ヶ月連続で前年同月件数を上回った。

負債総額は124億円で、前月比57億円の増加となっており、前年同月比においても105億円の増加となった。大型倒産が3件発生した事で負債総額が押し上げられ、今年の最高額となった。

倒産会社の従業員数は523名で前月比にて36名増加しており、今年最多の人数となった。また、9月としては統計開始以来の最多人数となった。

産業別の倒産件数は「建設業」と「小売業」が各6件と多く、次いで「製造業」と「サービス業」が各5件となった。負債額では「製造業」が68億円と多く、次いで「サービス業」が26億円、「運輸業」が19億円であった。

原因別では、「業績不振」によるものが27件と殆どを占め、「放漫経営」「その他」「設備投資過大」が各1件となった。

負債総額10億円以上の大型倒産

山武郡	自動車用部品製造販売業者(製造業)	負債総額	約65億円
千葉市	折込広告業者(サービス業)	負債総額	約19億円
千葉市	運送業者(運輸業)	負債総額	約18億円

平成20年度上半期(平成20年4月～9月) 千葉県内企業倒産集計

・件数	199件 (前年同期比 57件増)
・負債総額	465億円 (〃 192億円減)
・産業別 件数	「建設業」62件 「サービス業」36件 「卸売業」28件
・〃 負債額	「建設業」129億円 「製造業」104億円 「卸売業」74億円
・原因	「業績不振」153件 「他社倒産の余波」17件 「過小資本」11件

(東京商工リサーチ・千葉県内企業倒産状況より)

本誌作成にあたってのデータ参照先

銚子市漁業協同組合
銚子商工会議所
株式会社 東京商工リサーチ
国土交通省 統計情報
社)日本自動車販売協会連合会 千葉県支部
千葉トヨタ自動車 株式会社
ハローワーク銚子
ハローワーク茂原
ハローワークいすみ
ハローワーク成田
ハローワーク佐原
ハローワーク常陸鹿嶋
東京電力 株式会社 成田支社
(順不同)
その他掲載データは当金庫独自の調査によるものです。

発行; 銚子信用金庫
編集; 営業推進部
住所; 〒288-8686 銚子市双葉町5-5
電話; 0479-25-2121
FAX; 0479-24-4591
E-mail; eisui@choshi-shinkin.co.jp
URL; <http://www.choshi-shinkin.co.jp>

ちょうしんきん ビジネス知恵袋のご案内

「取引先事業所の成長・発展」を目的に、経営コンサルティング企業の㈱タナベ経営とタイアップし、みなさまのビジネスを支える多彩な情報をインターネットを通じてご提供するサービスです。

【年会費】17,850円(うち消費税850円)

【ご入会】当金庫取引の有無は問いません。入会申込書は、お近くのちょうしんきん窓口またはご担当の営業担当者におたずねください。

経営情報レポート

業種別・機能別・経営テーマ別に分類。
改善事例や経営ノウハウなど総数2,000種類の経営情報をご提供。

法律アドバイスネット

法律に関するQ&A4,000種類。申請書・申告書記載例300件、根拠条文も閲覧可能。

ネット経営相談

企業経営に関するアドバイスネット。FAQを50件掲載。
あらゆる経営のお悩みをご相談ください。専門コンサルタント、法律・税務の専門家がメールでアドバイスいたします。

レポート・ネット

毎月配信するリーダーズ・レポートと地域版コンサル・レポートをご覧ください。

その他のコンテンツを含めて、全16の充実したコンテンツが満載!

みなさまのお申込みをお待ちしています。